



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

舎印

令和 2 年 / 月 20 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ イシヰヨシヰマツカ
団体名 石井十次に学ぶ会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり ㊧ その他
事業名称	石井十次に学ぶ会
事業実施小学校区・地区	大宮小学校区
事業実施回数	新規 ・ ○ 継続 2 回目 / 【 令和元年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 大宮学区は岡山市東南端に位置し、自然豊かな環境の中にある。しかし、少子高齢化が急速に進み人口の減少が止まらない。又、現代の「他人への無関心が生む希薄な人間・近隣関係」によりコミュニティづくりが不十分になり、地域行事の遂行にも支障をきたすようになってきている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 石井十次は福祉という言葉がなかった明治の時代にわが国で初めて岡山孤児院を創設した偉人であり、大宮学区は十次が初めて子どもをあずかり、孤児院発祥となった地である。石井十次の功績を学び、顕彰する活動を通して人が人を信じ、助け合う精神を知り、それに触れ広めていくなかで、地元への愛着と住民間のコミュニケーションを作り出し、ゆかりの地に相応しいコミュニティを築くことを目的とする。 今後は高齢者の支え合いや子どもの見守り・放課後の支援等、地域福祉に役立つ活動を実施していきたい。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1 石井十次資料コーナーを設置・充実させる 2 講演会を開催する 3 石井十次展を開催する 4 石井十次ゆかりの地を訪ね、交流を深めていく 5 石井十次ゆかりの上阿知大師堂、診療所跡地の保全活動（清掃、草刈り） 6 HP・冊子・「十次通信」（年4回発行）による広報活動を行う 7 紙芝居（石井十次物語）を小学校、福祉・公共施設で実施する 8 上阿知大師堂での接待を継続して行い石井十次の業績を多くの人に知ってもらう
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ①石井十次の偉業を知り、学区内外の人に広めたい ②大宮の住民が、石井十次と岡山孤児院のゆかりの地である事に誇りと愛着を持つ ③石井十次の精神を生かした支え合いの地域づくりを目指す ④社会福祉法人 石井記念友愛社（宮崎県）との交流を深める
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・冊子「石井十次の教えを今に」を有効に活用し、より多くの人に周知する ・ゆかりの地の訪問を毎年実施し、現地での学びを深める ・より多数の人に知ってもらうため十次ゆかりの地（上阿知大師堂）でお接待を継続実施する ・小学生と一緒に保全活動を実施し、十次の精神を次世代に伝える
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 大宮学区連合町内会、単位町内会、大宮学区コミュニティ協議会、民生委員 体協 大宮安全・安心ネットワーク、大宮小学校PTA、老人クラブ、愛育委員
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・「十次通信」を年4回程度発行し、町内回覧するとともに、東区の主要な施設に配布する ・活動をホームページで紹介する ・石井十次の偉業や「石井十次に学ぶ会」の活動をわかりやすく紹介した冊子を小学校、福祉・公共施設に配布し閲覧してもらう

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・大宮学区連合町内会を始め、学区各種団体と連携を強化する ・大宮小学校PTAと連携していく ・「十次通信」を発行し活動内容を知らせる ・HPを活用する
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 ・活動組織（3部会）をさらに定着・充実する ・広める活動から 十次の教えを生かす活動に発展させたい ・講演会やゆかりの地訪問等に地域外の人にも さらに多く参加してもらうよう努める
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 年度以後の活動計画 今年度の事業を工夫し継続していく。また、石井十次展の開催等、新たな活動にも取り組む 石井十次ゆかりの地を訪問し、見聞を広めると共に交流を深める 支え合いの地域づくりとリンクさせる ② 金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。
その他PRしたい点	・平成31年4月1日石井記念友愛社（宮崎県）の ████████ 理事長引率のもと友愛園の高校生11名が上阿知の大師堂へ訪れ、茶臼原で育てたアジサイの苗（2本）を地域の人々と共に植樹し互いに交流を深めている。 ・令和2年2月に「石井十次の教えを今に」と題した冊子を発刊する予定であり 今後、様々な活動の場で有効に活用していきたい。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	第1回役員会(総会資料の検討)
5月	総会 お接待実施 勉強会(冊子、DVD等による)
6月	第2回役員会(お接待の報告、当面の活動) 「十次通信」NO. 5
7月	保全活動(大師堂、診療所跡地) 大宮桃太郎祭り参加 (十次おにぎり、フリーマーケット)
8月	講演会
9月	第3回役員会(講演会反省、当面の活動) 「十次通信」NO. 6
10月	ゆかりの地訪問(成徳学校祭等)
11月	三世代交流会参加 石井記念友愛社訪問(収穫祭参加)
12月	保全活動(大師堂、診療所跡地) 「十次通信」NO. 7
1月	勉強会(石井十次展に向けて) 石井十次展準備
2月	石井十次展準備(写真、資料、活動記録等)
3月	石井十次展 第4回役員会(反省と次年度に向けて) 「十次通信」NO. 8

紙芝居「石井十次物語」の上演は福祉・公共施設からの依頼を受けて実施する

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は決算見込額	予 算 額	内 容
前年度繰越金	43,997	0	
岡山市補助金	584,000	310,000	
地域団体助成金	40,000	50,000	連合町内会、コミュニティ協議会等
会員会費	59,000	70,000	1,000円×70人
団体会費	20,000	50,000	5,000円×10団体
寄付、他収入、利子	1	140,000	冊子等
計	746,998	620,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
消耗品費	70,802	100,000	コピー用紙、インク代、草刈り機の刃、鎌、なた、除草剤
食糧費	10,532	20,000	会議用飲物
印刷製本費	373,311	150,000	冊子増刷、写真、紙芝居増刷
通信運搬費	0	15,000	切手等
広告料	100,000	100,000	十次展、HP管理
原材料費	10,000	10,000	十次おにぎり作成
報償費	19,696	45,000	講演、紙芝居上演
旅費	124,255	160,000	宮崎視察訪問交通費
その他	38,402	20,000	友愛社年会費、供花
計	746,998	620,000	

◆概算交付の要否 (いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する	☐ 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

活動資金が十分でない。

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。